

# 【シラバスの見方について】

## 社会学【基礎教養】

1年次 前期 必修 1単位  
開講年次 開講期 必修or選択必修 単位数

担当責任者 相澤 出(所属:社会学教室)

担当者 住友 和弘(所属:老年・地域医療学教室)

### ねらい ※どういう目的で本科目を学ぶか確認して下さい

人間と社会をとらえる視点としての社会学の基礎、そして社会的営為としての医療を捉える視点としての医療社会学、患者と家族、現代社会を理解する視点としての家族社会学について学ぶ。

### 学修目標 ※本科目を通じて身に付けるべき知識やスキル等を確認して下さい

- 1.患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものかを考え、そのように行動する(利益相反等)。[PR-01-01-01]
- 2.社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。[PR-01-01-02]
- 3.自分自身の限界を適切に認識し行動する。[PR-01-02-01]
- 4.患者を含めた他者に思いやりをもって接する。[PR-02-01-01] ※医学教育モデル・コア・カリキュラムとの対応 ⇒ 巻末資料確認
- 5.他者に思いやりをもって接することができない場合の原因・背景を考える。[PR-02-01-02]
- 6.自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める。[PR-02-02-01]
- 7.他者を適切に理解するための妨げとなる自分や自集団の偏見とはどのようなものかを考え、意識して行動する。[PR-02-02-02]
- 8.多様な価値観を理解して、多職種と連携し、自己決定権を含む患者の権利を尊重する。[PR-04-01-02]
- 9.身体・心理・社会の問題を統合したアプローチを理解している。[GE-01-02-01]
- 10.個人・家族の双方への影響を踏まえたアプローチを理解している。[GE-01-02-02]
- 11.人の言動の意味をその人の人生史・生活史や社会関係の文脈の中において検討できる。[GE-04-02-01]
- 12.文化人類学・社会学(主に医療人類学・医療社会学)の視点で、患者やその家族と生活環境・地域社会・医療機関等との関係について説明できる。[GE-04-02-02]
- 13.文化人類学・社会学(主に医療人類学・医療社会学)の理論や概念を用いて、患者の判断や行動に関わる諸事象を説明できる。[GE-04-02-03]
- 14.家族や地域といった視点をもちながら、コミュニケーションをとることができる。[CM-03-02-01]
- 15.個や集団に及ぼす文化・慣習による影響(コミュニケーションの在り方等)を理解している。[SO-06-01-03]
- 16.病院・診療所・施設等の職場環境やチームや部門等の所属に応じた他職種の役割を理解している [IP-02-04-01]。

### カリキュラム・ポリシーとの関連性 ※本科目と関連の深いカリキュラム・ポリシーを確認して下さい

カリキュラム・ポリシー		関連	カリキュラム・ポリシー		関連
1	心豊かな人間性を備える倫理教育	◎	6	問題基盤型学習や双方向教育、グループ討論・発表などの主体的・能動的学習を取り入れる	
2	講義と地域体験学習の連動性	○			
3	地域滞在型教育	○	7	関連科目間の横断的および縦断的統合	○
4	地域医療の理解から総合診療力の養成	○	8	アウトカム基盤型教育と適切な学習評価の実施	
5	救急・災害医療に対応できる医師の養成		9	医学教育の国際化に対応した教育	

【◎…関連が特に深い項目 ○…関連する項目 空欄…評価の対象外】

### コンピテンシー【科目到達レベル】 ※【コンピテンシー達成レベル (例) IP ⇒ C : 限定的に良い (知識力を備えている)】

コンピテンシー		到達レベル	コンピテンシー		到達レベル
PR	プロフェッショナリズム	D	IT	情報・科学技術を活かす能力	
GE	総合的に患者・生活者をみる姿勢	D	CS	患者ケアのための診療技能	
LL	生涯にわたって共に学ぶ姿勢		CM	コミュニケーション能力	D
RE	科学的探究		IP	多職種連携能力	C
PS	専門知識に基づいた問題解決能力		SO	社会における医療の役割の理解	C

【科目達成レベルの説明】 ※詳細はコンピテンシーと科目達成レベルの表を参照のこと

A : 非常に優れている (行動力を備えている)      B : 良い (理解力を備えている)      C : 限定的に良い (知識力を備えている)  
D : 経験する機会があるが単位認定に関係しない      - : 該当しない

### 授業計画・内容

回	担当者	項目	内容	学修目標
第1回	相澤 出	社会学の視点	講義概要、社会学の視点、社会学以前の社会科学の歴史	1-15
第2回	相澤 出	社会と人間を捉える視点の歴史	人間本性と行動、利己性と合理性、習慣と感情	5.6.7.11.15
第3回	相澤 出	歴史的な社会とその文化	歴史主義、文化とその多様性	5.6.7.11.15
第4回	相澤 出	文化を捉える視点	文化、人間の行為とその意味、理解、価値	5.6.7.11.15
第5回	相澤 出	社会システムと機能分化	社会的存在としての人間、社会学における機能主義	12.13.15

第6回	相澤 出	分業と役割	基礎概念としての役割、近代社会における分業	12.13.15
第7回	相澤 出	疾病構造の変化	急性疾患と慢性疾患、医療化、病院、ケア	1.2.3.4.5.6.8
第8回	相澤 出	病いを患った人とその経験（1）	病人、患者	1.2.3.4.5.6.7.8. 11.12
第9回	相澤 出 住友 和弘	多職種の連携とケアの実際	ケアの現場において立場・専門性・視点を異にする人びとの関わり、地域包括ケア、地域医療	1.2.3.4.5.6.8.12
第10回	相澤 出	病いを患った人とその経験（2）	スティグマ、施設、ノーマライゼーション	1.2.3.4.5.6.8.12
第11回	相澤 出	医療専門職とその組織（1）	専門職論、医療専門職、合議制アソシエーション論	1.2.3.4.5.7.8.11 .12
第12回	相澤 出	医療専門職とその組織（2）	官僚制論	1.2.3.4.5.8.12
第13回	相澤 出	家族社会学の基礎	小集団としての家族、家族機能	4.10.12.14
第14回	相澤 出	家族の歴史性	近代家族、ジェンダー	4.10.12.14
第15回	相澤 出	現代の家族をめぐる諸論点	個人化、多様化する家族、ネットワーク	4.10.12.14

## 授業形態

講義

## 成績評価方法 ※科目によって異なりますので、事前に必ず確認して下さい

試験（80%）、講義中に実施する小レポートやコメント等への評価（20%）

## 教科書

特になし

## 参考書

自治医科大学監修『地域医療テキスト』医学書院、『図説 国民衛生の動向 2023/2024』厚生労働統計協会、その他にも授業中に随時紹介する。

## 他科目との関連 ※科目間の関連性・全体像については「カリキュラム・ツリー」を参照して下さい

この科目は「医学概論」「倫理学」と重なる領域があり、「哲学」「心の科学」「法学」「経済学」「文学」「地域支援論」「東北を学ぶⅠ・Ⅱ・Ⅲ」「医療コミュニケーション学」「地域・介護・在宅医療学」と関連があります。

## 学生へのメッセージ（準備学習（予習）・復習）

普段からニュースに触れるなどして、社会の動向をとらえましょう。医療は人間を相手とする社会的営為です。人間と社会を理解する手がかりとなる知は、長期的に医師にとって必要となってきます。高校の時に倫理政経をとっていた人は、その時の教科書が手もとにあると講義内容が面白くなる可能性があります。日本史、世界史の知識も非常に役立ちます。無駄な知識などありません。講義の後 30 分から 1 時間程度、資料をよみかえしつつ、内容の理解を深めるなど復習してください。

## 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

試験終了後、試験について講評を掲示し、講義全体及び試験内容のふりかえりを各自行ってもらう。小課題については講義中に講評を行う。

## オフィスアワー

基本的に毎日出勤していますので、午後の時間帯に対応可能です。ただし、他の授業や学内業務、出張等が入ることがあるので、事前にメールにてご連絡ください。日程調整をします。質問等についてはメールや講義の前後の時間帯に直接受け付けます。メールアドレスは初回講義時に伝達します。

## 実務経験との関連性

医療法人の常勤の研究者として研究や業務に従事した経験があり、講義内容のなかに、その知見を反映したものが含まれている。